

平成17年度の鳥取県立博物館

1 総 論

運営面においては、12月の県議会において、これまで鳥取県が運営してきた「山陰海岸自然科学館」を「山陰海岸学習館」として県立博物館に付置することが決定された。さらに、これに併せて、施設の見直し検討や今後の運営のための諸準備を行った。

また、長期的な運営目標として「県立博物館のミッション」を策定した。併せて、主に展示業務を対象とした「自己点検システム」を館内で統一し、さらに、中長期的展望を目標とした「理念～活動計画～改善」のための改善システムの構築を試みた。

展示事業においては、2年間継続した地学生物常設展示室の改善事業を終えた。今回の改善では、大学や関係諸機関等との連携のもとに鳥取砂丘や大山に関する最新の研究成果や県内の動植物に関する諸情報や標本・資料を体系的に配置した。

資料保管事業においては、特定化学物質による資料燻蒸から職員による日常的な総合的有害生物管理（IPM）への切り替えへの準備を整えた。

教育普及事業においては、広報・子ども活動支援・古文書解読の各種ボランティアを継続して受け入れた。また、刊行物の見直しに伴い、年間1回発行の「郷土と博物館」を廃刊し、新たに年2回発行の「鳥取県立博物館ニュース MUSEUM PRESS」を刊行した。

2 各 課 の 概 況

(1) 総 務 課

- ・本庁化となる。(H17.4.1)
- ・学芸課と美術振興課は係を廃し担当制となる。
- ・二階会議室横美術収蔵室空調設備改修工事等実施
- ・自家発電機盤更新工事等

(2) 学 芸 課

●自然担当

- ・展覧会の開催：特別展「遥かなる進化－恐竜・マンモスそしてホモ・サピエンス－」
- ・自然資料充実事業
- ・自然（剥製他）資料修復事業
- ・寄贈植物標本整理事業（2カ年）1年目
- ・地学・生物常設展示室リニューアル（H18年3月28日～）

●人文担当

- ・展覧会の開催：企画展「鳥取の山岳信仰」
- ・藩政資料整備事業（14カ年）1年目
- ・鳥取県の祭り・行事調査事業（3カ年）3年目
- ・歴史民俗常設展示室改善充実事業（5カ年）2年目
- ・館蔵考古資料保存修復事業（3カ年）1年目

- ・近現代資料目録刊行事業（1カ年）1年目

(3) 美術振興課

- ・展覧会の開催：特別展「アメリカ現代美術展 ミスミコレクションによる：Contemporary Voice」、特別展「東京都写真美術館コレクション展 写真都市パリ」、企画展「現代の表現 鳥取 vol.3『嶋田悦子・福井貞子 ー絢表現における伝統と創造ー』」、共同企画展「郷土作家展『異景ー八橋誠滋／渡里彰造の世界ー』」
- ・石谷家（智頭町）資料整理調査事業（3カ年）2年目
- ・絵画資料修復保存事業（5カ年）3年目